

# 朝 日 新 聞

## ビオトープに生徒の助っ人

### 足柄高校生物部員、自然講座を補助



観察会の手伝いをする足柄高校生物部員＝南足柄市怒田

南足柄市の足柄高校の生物部員8人が、近くのアサヒビール神奈川工場内のビオトープで、昨年12月から自然観察の講座を補助するボランティアとして活躍している。生物調査や、外来種セイタカアワダチソウの

駆除などの保全活動も手伝っている。  
6月8日、工場に約30人の小学生と家族が集まった。講座「水中の生物を調べてみよう」。講師は神奈川県トクボ調査保全ネットワークの町田誠さん(64)。講

義の後、部員がビオトープに参加者を誘導する。池では、町田さんが網ですくったカエルやヤゴなどをびんに入れて参加者に見せたり、町田さんの代わりにすくったり……。

小学4年生の孫らと参加した湯河原町の仲田八重子さん(70)は「高校生ボランティアを見て、小さい子がお兄ちゃん、お姉ちゃんのようにになりたいと思うてくれるといい」。

部長の岩井翔太郎君(2年)は「ただ自然を守るだけでなく、地域に関心を持つことが大切だと思うようになった」という。

町田さんは「生徒の多くは、ムシを見る機会がなかった。この活動が地域を知る勉強にもなる」と話す。  
(岡田宙太)